

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：HIV/AIDS 臨床研修プログラム

病院名：名古屋医療センター

2. 診療科：感染症内科

3. コースの概要

留学期間中、感染症内科にて HIV/AIDS の症例を経験する。また並行して HIV/AIDS のトランスレーショナルリサーチおよび公衆衛生活動を経験する。

4. 目標

本プログラムでは HIV/AIDS の臨床に必要な知識・診察を修得した上で、研修終了後、所属元の医療機関で HIV/AIDS の院内感染対策・啓発活動ができるようになることを目標とする。

5. 取得手技

HIV/AIDS の初診患者や入院患者のマネジメント
多職種連携によるチーム医療のマネジメント
LGBTQ を配慮した診療のマネジメント
各種手技は必要に応じてある程度修得可能。

6. 研修期間 1 か月～3 か月（応相談）

7. 募集人数 年間最大 4 人～12 人（各期間中の受け入れは 1 人）

8. 診療科の実績

東海ブロック（愛知・岐阜・三重・静岡）のブロック拠点病院
愛知県の中核拠点病院
累計症例数 2,524 人（2022 年末時点）
初診患者数 年間約 100 人（エイズ発症率 40%）
定期通院者数 約 1,700 人
平均外来受診者数 30 人/日
平均入院者数（主科） 2 人/月

9.診療科の指導体制

診療科医師数 常勤3名

主として研修指導に当たる責任医師

横幕 能行（経験年数20年） 今橋 真弓（経験年数10年）

10.コンセプト

当科の特色としては外来診療が中心である。よって研修生には外来を留学期間通じて担当し、タイムマネジメントを考慮した外来診療力を高めることができる。またHIV/AIDS診療は身体障害者制度申請等、社会保障・福祉制度と診療が密接につながっている。従って、制度の理解も深めることができる。また当院の付属施設である臨床研究センター感染・免疫研究部と連携し、希望者は基礎研究にも携わることができる。

11.その他（研修関連情報など）

院内多職種カンファレンス（週1回）

HIV検査会（年3回（名古屋市）および毎日（愛知県））

多職種研修会（年1回）

エイズ学会（毎年11月or12月開催）への発表も機会があれば指導可能。